

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< 53 2011.11.6 > 連絡先 402-1622

## T P P 反対の申し入れに行きました

共産党県議団と市議団は、「農林業はじめ国民生活のあらゆる分野を脅かすT P P（環太平洋連携協定）参加に反対しましょう」と、10月から、農協や漁協、弁護士会などへ申し入れを行っています。

私松坂は10月28日、姫田議員と一緒に、県環境衛生食肉会館協同組合・県食肉販売業環境衛生同業組合や地域の漁業協同組合などへ行きました。責任者は不在で事務員さんへの伝言で終わったところが多かったのですが、なかには、「自由化になって安いものが流通すればいいじゃないか」「結局は、民主党内でも賛成反対あるけど、支持母体の意向で言うところだけやろ」というご意見もあり、なかなかT P Pの内容そのものを理解していただくのは難しいと感じて帰ってきました。

11月2日に行った市農協では、「T P Pに参加しても和歌山市だけを見ると米をのぞけば、大きな打撃を受けることは少ないだろうが、安全基準をゆるい方に合わせなくてはならないというのでは日本の安心・安全な食料は守れない」と、全国規模で署名も行き、集会にも取り組んでいるとお話されました。

### みち子のひとりごと ファイト!

23日(日)、和歌浦ベイマラソンwithジャズに参加し、10キロ走ってきました。今年で4回目の参加です。去年と一昨年はハーフ(42.195キロの半分)に参加したのですが、あまりのしんどさに今年は弱気になっての10キロです。それでも女子40才〜59才の部351人中190位と、へろへろになりましたが、私としては健闘です。

走っていて励みになるのは、沿道からの応援です。「がんばってー」の声が多いですが、今回はそのあとに「みんな頑張って走ってるんやから!それは言わん方が!」という声が聞こえました(ここまですでに聞こえるほど走りが遅かったことに自分でもびっくりです)。私は気にはしませんが、最近そういう話はよく聞きます。でも、今回の場合、それぞれ自分の意思で走っているのですから、「がんばれ!」でいいと私は思います。

もうひとつ、元気を出したい時に言う言葉があります。

「ファイト!」  
訳せば「がんばれ」ということ  
でしょうが、私はこの言葉が好きです。



# これならわかる T P P その1

## 日本が参加すると、暮らしにどんな影響がでるの？

食料の安定供給を危険に。医療、労働条件など国のあり方まで変える

T P Pは太平洋をかこむ国々が参加して貿易自由化をひろげ、経済連携を強めようという協定です。2006年に4カ国【シンガポール・ニュージーランド・チリ・ブルネイ】で発足しましたが、その後、アメリカなど5カ国【アメリカ・オーストラリア・ペルー・ベトナム・マレーシア】が参加を表明し、現在、9カ国による、より広域の協定目指した交渉がおこなわれています。

世界の国々は輸入品に税金をかけることで国内産業を保護しています。「貿易自由化」とは、その関税をなくし、自由に貿易できる環境をつくることです。T P Pの最大の特徴は、農産物を含めてすべての物品（モノ）の関税撤廃を原則にしていることです。

そのことで何よりもまず食料の安定供給が危険にさらされます。

T P Pの参加・交渉国のなかで、圧倒的な力を持っているのは、アメリカです。ですから日本がT P Pに参加することは、事実上、日米で関税なしの自由貿易協定をむすぶこととなります。

そうなれば、農林水産物の関税がゼロとなって、輸出大国であるアメリカ、オーストラリアから米、乳製品などが大量になだれこみ、国内生産は致命的な打撃を受けます。農林水産省の試算によれば、米の生産は90%がなくなり、食料自給率は40%から13%に低下してしまいます。政府は昨年3月、自給率を10年後に50%に引き上げる「計画」を打ち出したばかりですが、それには逆行することになります。

農林水産業の壊滅によって、原料の供給をうける食品加工、流通・販売など関連産業が深刻な打撃を受け、約350万人の職が失われます。さらには、地域経済が破壊され、農山村が維持できず、森林を整備する人もいなくなり、国土や環境が破壊されてしまいます。

影響は農林漁業にとどまりません。モノの貿易では、地場産業・中小企業がおもに担ってきた繊維や皮革・履物などの分野も、関税がゼロとなれば、外国産が大量に入り、深刻な打撃をうけます。

モノの貿易以外の分野では、暮らしや社会制度など広範な分野にわたり重大な影響がおよびます。

金融や保険、医療などの分野へ外国企業が参入するための規制緩和、食や健康、暮らしの安全をまもる日本独自の基準の撤廃、労働者の移動の自由化などです。この結果、「貿易拡大」「企業の競争力」だけが最優先されて、賃金や労働条件のいっそうの悪化をまねき、国民の暮らしが破壊され、日本という国のあり方を根本から変えてしまうこととなります。



# 「高齢者いじめがまた動き出したよ」

10月29日付けおはようニュース問答より

**晴男** 高齢者の医療負担を引き上げる話がまた動き出したよ。

**藤乃** 70才から74才の窓口負担ね。今は基本的にかかった医療費の1割だけど、それを2割に上げるとか。



## 国費削減の意図

**晴男** 厚労省が検討すると表明したんだよ。1割に据え置くために国債を役2000億円使っている。それを削減したい意図が見え見えだ。

**藤乃** 法律に書き込んだ自公政権でさえ実施に踏み切れなかった高齢者いじめをやるうというのね。

**晴男** そうだね。小泉内閣が2006年の医療改悪に盛り込んで、後期高齢者医療制度と一緒に08年に実施しようとしたんだ。

**藤乃** でも07年の参院選で自民党と公明党が大敗して当時の安倍晋三首相が退陣した。世論の批判が強く、公認の福田康夫首相が凍結を決めたのね。

**晴男** 当時、自民党の衆院議員が自分の父親に激怒されたとぼやいていた話も合ったよ。「年金生活なのに、来年から医療費を上げられては病院に行けない」と叱られたそうさ。

## 二重の公約破り

**藤乃** 年金暮らしの高齢者には深刻な問題よ。激怒するのも当然ね。それを今度は民主党政権がやるうというのね。民主党は負担増に反対してなかった？

**晴男** 09年のINDEX(政策集)の「医療改革(詳細版)」には70才以上の自己負担を1割にすると書いた。

**藤乃** 後期高齢者医療制度を廃止するという約束はすっかり棚上げして、約束とは正反対の負担引き上げは実施するなんて、二重の公約破りね。恥を知りなさいといいたいわ。



**晴男** 民主党内でも「INDEX違反になる」って声が上がっているそうだよ。だから政府・与党が6月に決めた「税と社会保障の一体改革」の成案では、表現をぼかして患者負担の「見直し」と書いたんだ。

**藤乃** 国民の批判が怖いよね。年金の支給開始年齢を68才とか70才に引き上げる改悪案にも批判が殺到して、大臣が来年の通常国会への法案提出は見送るっていったんでしょ。

**晴男** 年金改悪もまだ行方がわからないし、どちらも声を上げて食い止めなくちゃね。